



福井医療大学 保健医療学部  
リハビリテーション学科 准教授

## 藤田 和樹

なぜ、踏み間違いによる暴走事故が起こるのか。踏み間違い事故の発生率は75歳以上で明らかに増加し、これには認知機能だけでなく運動能力の低下が関与することが分かっている。

我々は、高齢者に自動車運転の疑似環境で緊急ブレーキを実施してもらい、筋の働き（筋電図）を分析した。高齢者はアクセルから足を離すとき、逆にアクセルを踏み込む作用のある筋も働いていた。さらに、太ももを挙げる筋の働きが遅れていることも判明

### ブレーキ踏み間違い、何が起きている？

した。つまり、ブレーキを踏む能力ではなく、アクセルから足を離すための能力が低下

した。つまり、ブレーキを踏む能力ではなく、アクセルから足を離すための能力が低下

した。つまり、ブレーキを踏む能力ではなく、アクセルから足を離すための能力が低下

した。つまり、ブレーキを踏む能力ではなく、アクセルから足を離すための能力が低下

した。つまり、ブレーキを踏む能力ではなく、アクセルから足を離すための能力が低下

## 運動に関わる神経機能の老化

していたのである。ただし、この研究は緊急ブレーキ成功時のデータであり、実際に踏み間違いが発生したときに体

していたのである。ただし、この研究は緊急ブレーキ成功時のデータであり、実際に踏み間違いが発生したときに体

していたのである。ただし、この研究は緊急ブレーキ成功時のデータであり、実際に踏み間違いが発生したときに体

していたのである。ただし、この研究は緊急ブレーキ成功時のデータであり、実際に踏み間違いが発生したときに体

していたのである。ただし、この研究は緊急ブレーキ成功時のデータであり、実際に踏み間違いが発生したときに体

の中でなにが起こっているかは不明である。そこで我々は、同様な実験で踏み間違いが発生したときのデータについて

の中でなにが起こっているかは不明である。そこで我々は、同様な実験で踏み間違いが発生したときのデータについて

の中でなにが起こっているかは不明である。そこで我々は、同様な実験で踏み間違いが発生したときのデータについて

の中でなにが起こっているかは不明である。そこで我々は、同様な実験で踏み間違いが発生したときのデータについて

の中でなにが起こっているかは不明である。そこで我々は、同様な実験で踏み間違いが発生したときのデータについて

いても収集を進めている。この2つのパターンの共通

いても収集を進めている。この2つのパターンの共通

いても収集を進めている。この2つのパターンの共通

いても収集を進めている。この2つのパターンの共通

いても収集を進めている。この2つのパターンの共通

（毎月第1、第3木曜  
日掲載、医療現場の視点  
で交通安全を提言しま  
す）